

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第45週（11月5日～11月11日）

★ お知らせ

○ 感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の2.63から3.33に増加しました。嘔吐・下痢・腹痛・発熱などの症状を引き起こし、ほとんどの方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡する事があります。感染力は大変強く学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあります。症状が消失した後も、約1週間は便の中にウイルスが排出される可能性があります。感染を拡げないために、帰宅後の手洗い・うがい、食事前やトイレの後は必ず手を洗いましょう。

○ 水痘に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の1.43から1.60に増加しました。臨床経過は一般的に軽症で、倦怠感、掻痒感、38度前後の発熱が2～3日間続く程度であることが大半ですが、成人ではより重症化しやすいです。感染力は強く、発疹出現の1～2日前から出現後4～5日、あるいは痂皮化するまで伝染力がありますのでヒトとの接触をさけることが重要です。例年冬季に流行しているので引き続き手洗い、うがいの一般的な予防方法の励行に努めましょう。

○ インフルエンザB型が検出されました！

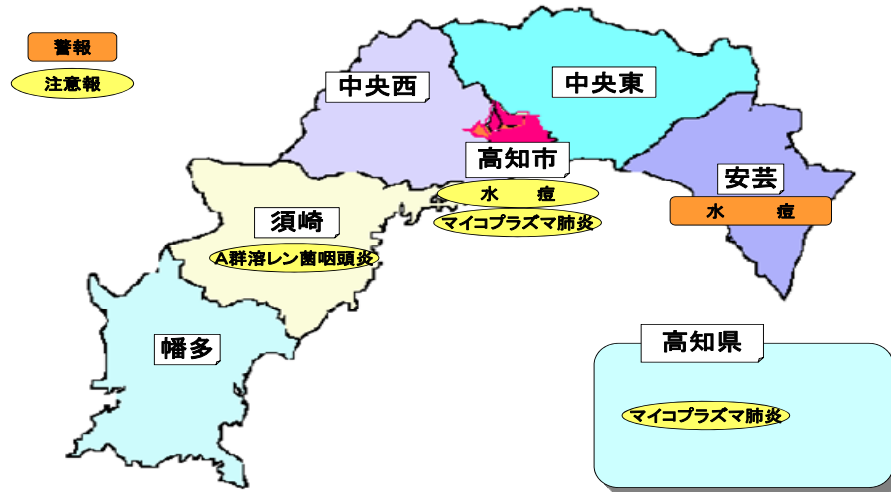
高知市の病原体定点から搬入された検体からインフルエンザウイルスB型（InfluenzavirusB NT）が2例検出されました。例年に比べるとB型の検出としては早く、43週にはインフルエンザウイルスA型の集団発生の報告もありましたので、注意してください。予防のポイントは「手洗い」「咳エチケット」「予防接種」です。外出後は手洗いを、咳やくしゃみをする時はティッシュやマスクを口と鼻にあて、他の人に直接飛まつがかからないようにしましょう。予防接種に関してはかかりつけ医とよく相談をして早めに受けるようにしましょう。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数（人）	県内の傾向
感染性胃腸炎		3. 33	幡多以外で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。
水痘		1. 60	中央西、高知市、中央東で増加した。安芸では引き続き警報値を、高知市では注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
マイコプラズマ肺炎		0. 75	高知市で6名の報告があり、県全体と高知市で注意報値を超している。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0. 57	須崎、安芸、幡多、高知市で減少したが、須崎では注意報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
RSウイルス感染症		0. 50	高知市で増加した。流行のシーズンなので注意が必要。

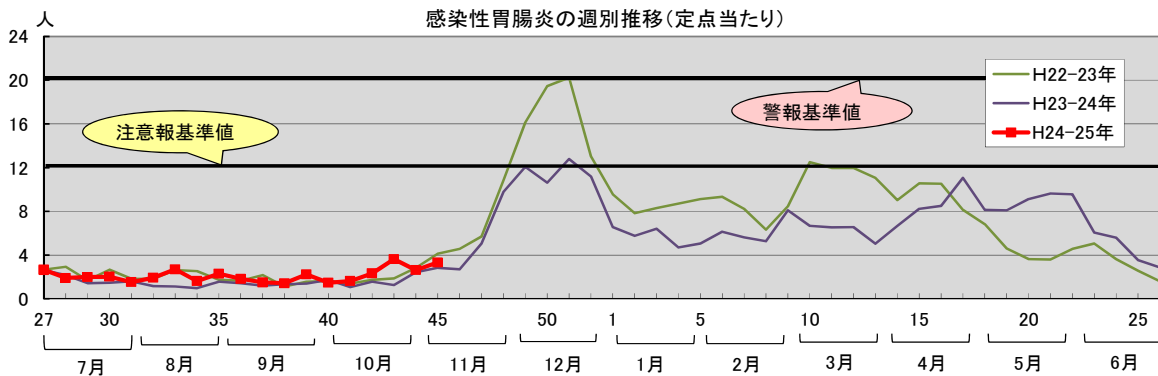
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

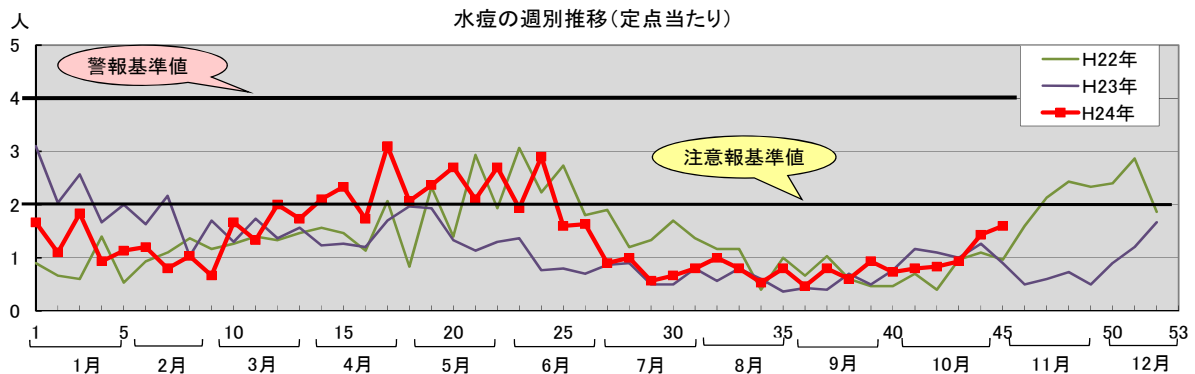
○ 感染性胃腸炎：3.33（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり3.33（前週：2.63）と増加した。安芸（7.00）中央東（5.57）高知市（3.00）中央西（3.00）須崎（1.50）で増加し、特に県東部では報告数が増えているので注意してください。予防方法は、手洗いです。排便後、調理や食事の前には十分に手を洗いましょう。



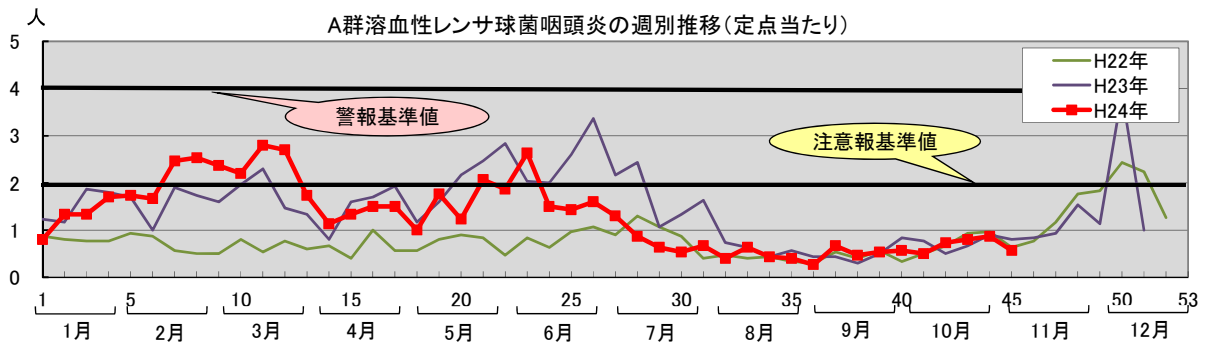
○ 水痘：1.60（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり1.60（前週：1.43）と増加した。中央西（1.67）高知市（2.27）中央東（0.14）で増加し、安芸（4.00）では引き続き警報値を、高知市では注意報値を超している。例年冬季に流行しているので今後注意してください。予防方法は、感染源のヒトとの接触をさけることが重要です。また、飛まつ感染や接触感染を起こすため、うがいと手洗いを行ってください。



○ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：0.57**（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり0.57（前週：0.87）と減少したが、学校欠席者情報収集システムでは約1.5倍の増加がみられた。冬季に流行するので今後注意してください。予防方法は患者との濃厚な接触は避け、うがい、手洗いを徹底しましょう。



★ **病原体検出情報**

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
45	インフルエンザ	12	女	高知市	Influenza virus B NT
45	インフルエンザ	9	女	高知市	Influenza virus B NT
45	百日咳	2	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
45	マイコプラズマ肺炎	5	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
45	マイコプラズマ	44	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
42	感染性胃腸炎	8ヶ月	男	高知市	Adenovirus 41
44	感染性胃腸炎	8ヶ月	男	高知市	Adenovirus 6

*「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ **全数把握感染症**

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結核	3	124	80歳代（男）	中央東
				70歳代（女）	中央西
				80歳代（女）	幡多
4類	つつが虫病	1	1	60歳代（男）	高知市

★ **定点医療機関からのホット情報**

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	感染性胃腸炎 1例（7歳：カンピロバクター）
	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ感染症 1例（44歳）
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 2例（6歳女、12歳男） マイコプラズマ肺炎 3例（6、9歳女、10歳男）
	国立病院機構高知病院小児科	アデノウイルス感染症 1例 （1歳男：咽頭ぬぐい液にてアデノウイルス抗原（+））
	細木病院小児科	ノロウイルス（+） 1例（14歳男）
中央西	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎 1例（10歳：高知市）
	日高クリニック	百日咳 1例（11歳女：PT 611、FHA 238）
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 1例（1歳女）
幡多	さたけ小児科	ヘルペス歯肉口内炎 1例（6歳女）
	渭南病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1例（1歳男）

★ 全国情報

第43週 (10/22～10/28)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核344例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症59例、腸チフス2例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎1例、つつが虫病3例、デング熱5例、日本紅斑熱7例、マラリア2例、レジオネラ症12例、レプトスピラ症4例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群14例、ジアルジア症3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん20例、麻しん3例、ウイルス性肝炎2例、梅毒17例

報告遅れ：日本紅斑熱6例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、急性脳炎3例

◆ 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因によるものを包含する症候群名である。全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染を原因とするものであると推測される。また、患者発生のピークは例年12月中となることが多く、同時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生例の原因の多くはノロウイルスによるものであると考えられている。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間～数日（平均1～2日）で、主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢であり、嘔吐・下痢は1日数回から多いときには10回以上のこともある。しかし、症状持続期間は数時間～数日（平均1～2日）と比較的短く、以前から他の病気がある等の要因がない限りは、重症化して長期にわたり入院を要することは少ない。また、発熱の頻度は高くはない。特効薬はなく、治療は対症療法となるが、最も重要なことは水分補給によって脱水を防ぐことである。

ノロウイルスの感染経路としては、以前は食中毒としての経口感染がよく知られていたが、感染後の発症者や無症状病原体保有者との直接もしくは間接的接触による接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト・ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。乳幼児の集団生活施設である保育所や幼稚園、小児の集団生活施設である小学校等においては、これら接触感染や飛沫感染等により、集団発生が繰り返されてきているものと推察される。また、2006年12月の東京都豊島区のホテルにおいて発生した集団感染事例のように、「吐物や下痢便の処理が適切に行われなかったために残存したウイルスを含む小粒子が、掃除などの物理的刺激によって舞い上がり、それを間近とは限らない場所で吸引し、経食道的に嚥下して消化管へ至る感染経路」である「塵埃感染」が発生する場合がある。ノロウイルスの感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要である。

感染症発生動向調査では、感染性胃腸炎は全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいている。2012年第43週の定点当たり報告数は4.64（報告数14,601）と2週連続で増加がみられている。都道府県別では福岡県（10.98）、兵庫県（10.87）、石川県（8.24）、大分県（7.75）、大阪府（7.19）、宮崎県（7.11）、熊本県（7.08）の順となっており、全国値（4.64）を上回っているのは佐賀県、鹿児島県を除いた九州の各県を含めて西日本の府県に多い。2012年第36～43週の定点当たり累積報告数は26.63（累積報告数84,126）であり、年齢群別では0～1歳27.9%、2～3歳20.6%、4～5歳15.8%、6～7歳9.2%の順となっている。

感染性胃腸炎の報告数は11月に入ると急増し、12月中にそのピークを迎えるという流行を例年繰り返してきている。本年も本格的な流行時期が近付いてきていることが予想されることから、今後の感染性胃腸炎の発生動向には注意が必要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第45週 平成24年11月5日(月)～平成24年11月11日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第45週							計	前週	全国(44週)	高知県(45週末累計)		全国(44週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H24/1/2～H24/11/11				H24/1/2～H24/11/4		
イワシ	インフルエンザ				3				3 (0.06)	2 (0.04)	369 (0.07)	16,417 (342.02)	1,636,445 (333.22)		
小児科	咽頭結核熱				1				1 (0.03)	1 (0.03)	609 (0.19)	156 (5.20)	43,839 (13.96)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2		7	3	4	1	17 (0.57)	26 (0.87)	3,859 (1.23)	1,831 (61.03)	231,547 (73.72)		
	感染性胃腸炎	14	39	33	9	3	2	100 (3.33)	79 (2.63)	17,562 (5.58)	6,899 (229.97)	857,085 (272.87)			
	水痘	8	1	25	5		9	48 (1.60)	43 (1.43)	2,487 (0.79)	2,035 (67.83)	152,691 (48.61)			
	手足口病					1		1 (0.03)	()	1,718 (0.55)	117 (3.90)	61,602 (19.61)			
	伝染性紅斑			4	2			6 (0.20)	5 (0.17)	120 (0.04)	840 (28.00)	19,754 (6.29)			
	突発性発疹			7	2	1		10 (0.33)	4 (0.13)	1,705 (0.54)	605 (20.17)	79,217 (25.22)			
	百日咳			2	1			3 (0.10)	()	77 (0.02)	322 (10.73)	3,600 (1.15)			
	ヘルパンギーナ	2		1			2	5 (0.17)	9 (0.30)	319 (0.10)	823 (27.43)	113,119 (36.01)			
	流行性耳下腺炎			1	1		3	5 (0.17)	8 (0.27)	1,058 (0.34)	661 (22.03)	62,859 (20.01)			
	RSウイルス感染症		6		9			15 (0.50)	16 (0.53)	3,092 (0.98)	852 (28.40)	67,884 (21.61)			
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	3 ()	1 (0.33)	418 (0.61)			
	流行性角結膜炎			1				1 (0.33)	4 (1.33)	274 (0.40)	43 (14.33)	16,488 (24.21)			
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	4 (0.01)	8 (1.14)	405 (0.87)			
	無菌性髄膜炎							()	2 (0.25)	21 (0.04)	23 (3.29)	803 (1.72)			
	マイコプラズマ肺炎			6				6 (0.75)	5 (0.63)	614 (1.31)	196 (28.00)	19,173 (41.06)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							()	()	24 (0.05)	13 (1.86)	724 (1.55)			
計(小児科定点当たり人数)	24 (12.00)	48 (6.86)	100 (8.37)	24 (8.00)	10 (5.00)	15 (3.00)	221 (7.09)			33,915	31,842 (846.71)	3,367,653			
前週(小児科定点当たり人数)	30 (15.00)	43 (6.14)	74 (5.69)	15 (4.99)	12 (5.75)	30 (6.00)		204 (6.40)							

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第45週							計	前週	全国(44週)	高知県(45週末累計)		全国(44週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H24/1/2～H24/11/11				H24/1/2～H24/11/4		
イワシ	インフルエンザ				0.19				0.06	0.04	0.07	342.02	333.22		
小児科	咽頭結核熱				0.09				0.03	0.03	0.19	5.20	13.96		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29		0.64	1.00	2.00	0.20	0.57	0.87	1.23	61.03	73.72		
	感染性胃腸炎	7.00	5.57	3.00	3.00	1.50	0.40	3.33	2.63	5.58	229.97	272.87			
	水痘	4.00	0.14	2.27	1.67		1.80	1.60	1.43	0.79	67.83	48.61			
	手足口病				0.33			0.03		0.55	3.90	19.61			
	伝染性紅斑			0.36	0.67			0.20	0.17	0.04	28.00	6.29			
	突発性発疹			0.64	0.67	0.50		0.33	0.13	0.54	20.17	25.22			
	百日咳			0.18	0.33			0.10		0.02	10.73	1.15			
	ヘルパンギーナ	1.00		0.09			1.00	0.17	0.30	0.10	27.43	36.01			
	流行性耳下腺炎			0.09	0.33		0.60	0.17	0.27	0.34	22.03	20.01			
	RSウイルス感染症		0.86	0.82				0.50	0.53	0.98	28.40	21.61			
眼科	急性出血性結膜炎										0.33	0.61			
	流行性角結膜炎			1.00				0.33	1.33	0.40	14.33	24.21			
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	1.14	0.87			
	無菌性髄膜炎								0.25	0.04	3.29	1.72			
	マイコプラズマ肺炎			1.20				0.75	0.63	1.31	28.00	41.06			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0.05	1.86	1.55			
計(小児科定点当たり人数)	12.00	6.86	8.37	8.00	5.00	3.00	7.09				846.71				
前週(小児科定点当たり人数)	15.00	6.14	5.69	4.99	5.75	6.00		6.40							

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869